

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 周期的電子風力を利用した原子再配列法の開拓
2. 研究代表者： 徳 悠葵（名古屋大学 大学院工学研究科 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、高周波電流がなす革新的な電子風力の「揺さぶり」を利用し、薄膜内原子の再配列を実現し、熱処理に依らない薄膜の原子配列・結晶構造の制御を目指しており、期待していた破壊的イノベーションを感じさせるテーマである。フェーズ1では、当初の目標に真摯に取り組み、研究進捗に一部遅れが見られものの、論文を発表することにより新しい現象であることが認められたことは評価できる。フェーズ2の研究計画では、原理とメカニズムの解明を諦めずに進めると共に、様々な現象への展開や具体的な応用例などについて、研究計画を見直すことに注力頂きたい。

以上